



写真：「新任教務主任研修・教務主任研修の合同研修より」

- ◆ 1 ページ
 - ・ 研修紹介(新任教務主任研修・教務主任研修の合同研修)
 - ・ 学校紹介(舟入小学校)
 - ・ 案内(土曜特別セミナー11月)
- ◆ 2 ページ教育最前線
 - ・ I「アクティブ・ラーニング」を見据えた授業『国語科編』
 - ・ II 教育委員会発！情報FLASH「インクルーシブ教育」

研修紹介 全国学力・学習状況調査の誤答分析で更なる授業改善を

季節は秋となり、何をするにも気持ちのよい季節となりました。
 さて、全国学力・学習状況調査の結果が公表されていますが、各学校では、その結果を生かして、より一層の教育活動の充実が図られているのでしょうか。先般実施した教務主任研修・新任教務主任研修では、国立教育政策研究所 小松信哉 学力調査官をお招きし、全国学力・学習状況調査の成果と課題を踏まえた授業改善について伺いました。
 小松調査官からは、全国学力・学習状況調査の結果(数値)ばかりに目を向けるのではなく、児童・生徒の誤答を分析し、なぜ間違えたのか、どのような指導が必要だったのかなど、指導の工夫改善の方法を考えることが大切であるとのお話がありました。
 内部Webページに小松調査官のパワーポイント資料を掲載しています。ぜひご活用いただき、授業の更なる充実にお役立てください。

★お勧め資料

国立教育政策研究所(NIER) 教育課程研究センター 学力調査官 小松 信哉

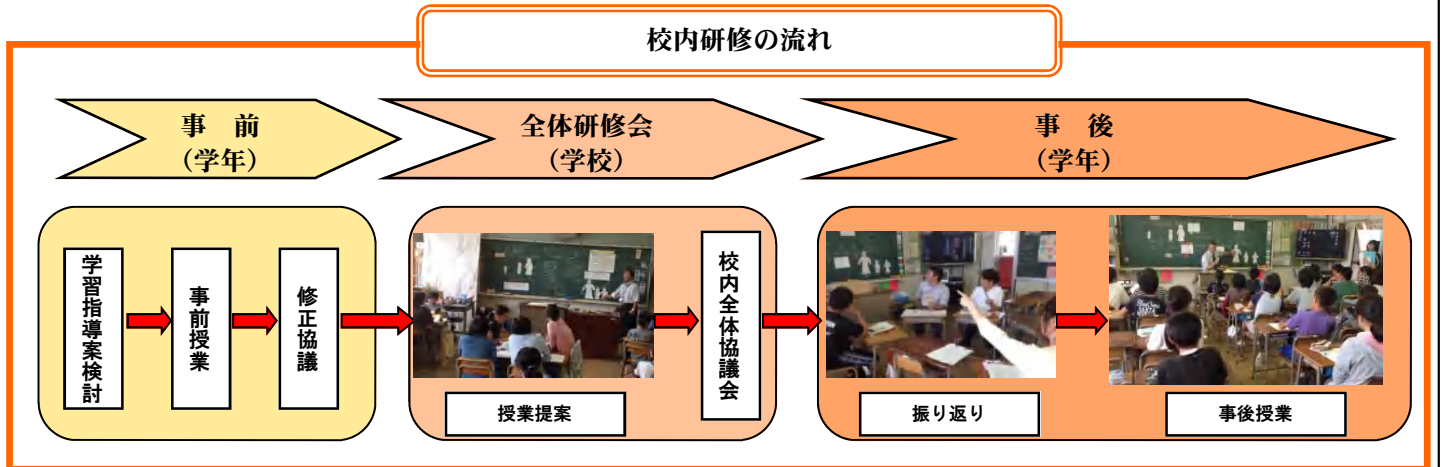
SEARCH 広島市教育センター GO

学校紹介 校内全体協議会の意見を反映した事後授業の実践

舟入小学校

サテライト研修指定校2年目になる舟入小学校では、今年度、校内授業研究の充実に向けて、校内全体協議会后に実施される「事後授業」の取組に力を入れています。
 具体的には、年間9回の校内全体研修会を行い、この中で各学年1回ずつ授業提案を実施しています。学年会で、事前の協議(学習指導案検討・事前授業)を行い、全体研修会で授業提案と校内全体協議会を行います。事後の協議では、校内全体協議会で出た意見を学年で振り返った後に、改善した事後授業を行っています。授業者だけでなく、学年の全担任が、必ず1回は授業を行い、課題の共有を図りながら、授業について協働的に考えることができます。全体研修会をゴールとせず、継続的な授業力向上へとつなげています。

校内研修の流れ



11月の土曜開館特別セミナー

平成27年11月21日(土) 9:30~12:00 場所：広島市教育センター
 「考えてみよう!!発達障害のある子どもへの学習支援」 講師：古田 壽子先生(本市専門家チーム委員)
 内容・ できないことの背景と特性に応じた支援(やってみよう!!つまずきから考える支援)
 ・ 考えてみよう!!特性に応じた学習支援(日頃のお悩みをもとに)

教育最前線 | シリーズ「アクティブ・ラーニング」を見据えた授業⑥

子ども自身が付けるべき力を目指して 主体的に考える課題設定の工夫

小学校第3学年「もうどう犬の訓練」
＜山本小学校 小松司 教諭の実践＞

国語科編

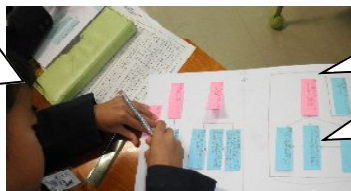
国語科は、教科書教材を活用して能力を高める教科です。しかし、教材の内容理解を重視してしまい、単元で付けたい力が不明確になっている状況はないでしょうか。また、子ども自身は自分が何を学んでいるのかを意識することができているでしょうか。今回は、子ども自身が何を目標として学んでいるのか意識させるために、①今までに学んだ読み方を事前に確認すること、②付けたい力を目指した課題を設定することの2点を工夫して、言語活動に取り組んだ実践例を紹介します。

【付けたい力】「読むこと」説明的な文章の解釈

目的に応じて、中心となる語や文をとらえて段落相互の関係や事実と意見との関係を考え、文章を読むこと。

【付けたい力の具体】○ 中心となる語や文を取り出す

○ 事実と事実の関係や事実と意見の関係(段落相互の関係)をとらえて並べたり、矢印で結んだりする

<p>0次 ・既習事項の復習</p>	<p>工夫① 今までに学んだ読み方の確認 「いろいろなふね」（第1学年）で学んだ読み方の力（事柄の順序を考えながら読む）を段落相互の関係に注目しながら確認し、課題解決の手がかりを得る。</p>
<p>一次 ・課題の提示</p>	<p>工夫② 付けたい力を目指した課題の設定 みなさんは、ぼくたち「もうどう犬」というのはたらく犬がいることを知っていますか。本や新聞、テレビで見たことのある人もいるかもしれませんね。ぼくたちもうどう犬のすごいところを文章や本から見つけて、『すごいぞ！もうどう犬マップ』にわかりやすくまとめておうちの人や他の学年の人たちに紹介しよう。 そのために、内容をどのように説明するとよく分かるのか、みんなで考えてみよう！</p>
<p>二次 ・学んだ読み方 を活用して、課題解決の方法を考え出す</p>	<div style="display: flex; align-items: flex-start;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;"> <p>分かりやすい説明にするために、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大まかな内容→くわしい内容にまとめる ・まとめたことを色分けして示すなどの工夫を考え、主体的に言語活動を行うことができた。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;"> <p>段落の大切な内容は、短い言葉にして書いたら紹介しやすいね。</p> </div> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「大まかなこと」の段落と「くわしいこと」の段落の色をかえてみよう。</p> <p>段落と段落のつながりは、線や矢印の種類をかえると分かりやすいね。</p> </div> </div>
<p>三次 ・考えた課題解決の方法を活用する</p>	<div style="display: flex; align-items: flex-start;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;"> <p>「もうどう犬の訓練」で学んだ方法を活用して、他の書籍（働く犬）でも分かりやすい説明の仕方考えることができた。</p> </div> <div> <p>【子どもの感想】 ぼくは、初めて読む人のことを考えて、「はじめ—中—おわり」の順番で書けばよいと思います。はたらく犬のすごいところを、「はじめ」には大まかに、「中」にははじめのことをくわしくせつ明、「おわり」には一番伝えたいことを書くとうまくつたわと思います。</p> </div> </div>

教育最前線 | 教育委員会発！ 情報FLASH

インクルーシブ教育

チームで環境づくりに取り組み、どの子どももわかる授業を実現

現在、国においては、障害のある人もない人も共に積極的に社会参加する「共生社会」をめざし、そのための教育システムとして「インクルーシブ教育システム」の構築がすすめられています。このような流れを受け、障害のある子どもない子どもも「授業がわかり」「参加している実感や達成感もち」「生きる力を身に付ける」教育環境が求められています。通常学級の中で障害のある子どもを含めたすべての子どもがわかる授業づくりをしていく際に、チームで取り組み、環境を整えていくためのポイントを1つの事例を通して紹介します。

